

中小企業の業況は、持ち直しの動きが見られる。

山口商工会議所では、管内中小企業100社を対象に景況調査を実施し、このほど令和3年4月～令和3年6月実績と令和3年7月～令和3年9月期見通しについての調査結果（回答数93社、回答率93%）をとりまとめた。本調査は、3ヶ月毎に年4回行っている。

全業種のDI値に見る業況判断動向を前期と比較すると、前期の▲45%から▲25%と大幅に上昇した。業種別にみると、製造業は▲42%から▲33%と僅かに上昇しており、来期は▲47%と低下の見通しである。建設業は8%から▲7%と上昇しており、来期は▲29%と大幅に低下の見通しである。小売業は▲48%から▲27%と大幅に上昇しており、来期も▲23%と僅かに上昇する見通しである。サービス業は▲61%から▲22%と大幅に上昇しているが、来期は▲31%と僅かに低下する見通しである。

今回調査では、前回調査と比較して、建設業以外の業種で上昇傾向が見られた。

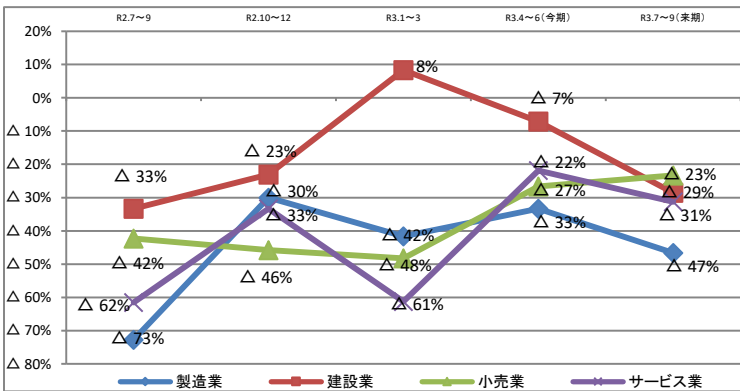
新規設備投資について、今期中に設備投資を実施した企業は全体の16%、来期設備投資を実施予定の企業は12%であった。

経営上の問題点については、建設業以外の業種で需要の停滞が上位に入った。また、原材料等の価格の上昇について、製造業、建設業、小売業で上位に入った。サービス業では、前回調査で上位に挙がっていた「新型コロナウイルス感染症の影響」に代わり、今回調査では「新規参入業者の増加」が上位に挙がった。

◆業況DI値（今期の状況）

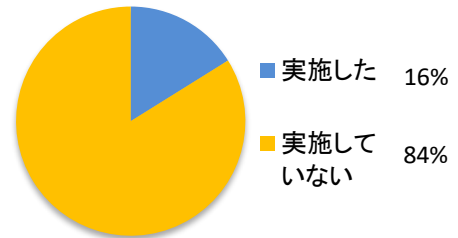
	業況判断	前回調査比	売上	前回調査比	資金繰り	前回調査比	仕入単価	前回調査比	経常利益	前回調査比	従業員数	前回調査比
全産業	△ 25%	↗	△ 9%	↗	△ 18%	↗	24%	↗	△ 28%	↗	△ 8%	↗
製造業	△ 33%	↗	7%	↗	△ 7%	↗	27%	↘	△ 13%	↗	△ 7%	↗
建設業	△ 7%	↘	△ 7%	↘	△ 7%	↘	57%	↗	△ 43%	↘	△ 14%	↗
小売業	△ 27%	↗	△ 13%	↗	△ 27%	↗	7%	↗	△ 30%	↗	△ 3%	↗
サービス業	△ 22%	↗	△ 6%	↗	△ 19%	↗	19%	↗	△ 22%	↗	△ 6%	↗

◆産業別業況判断DI（前3期からの推移と来期見通し）

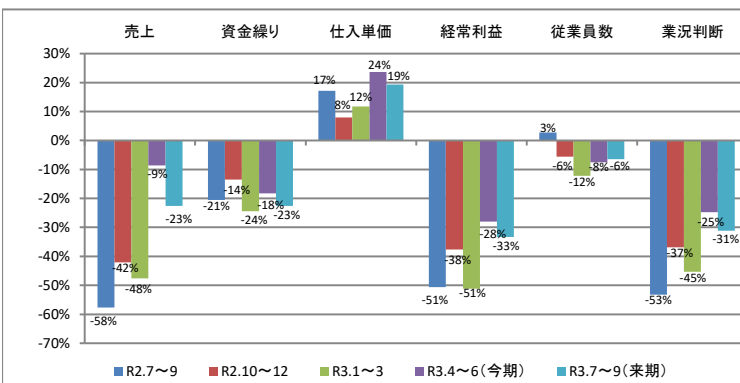


◆新規設備投資（今期実施・来期計画）

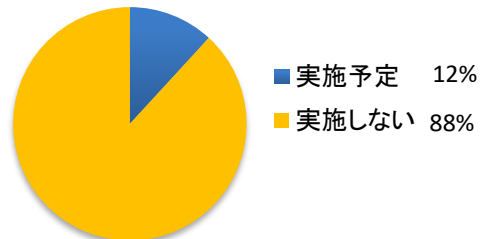
【今期設備投資】



◆全産業DI項目別比較（前3期からの推移と来期見通し）



【来期設備投資計画】



◆経営上の問題点

	製造業	建設業	小売業	サービス業
1位	需要の停滞 33.3%	材料価格の上昇 12.5%	需要の停滞 25.4%	利用者ニーズの変化への対応 23.0%
2位	製品ニーズの変化への対応 13.3%	材料の入手難 12.5%	消費者ニーズの変化への対応 16.4%	需要の停滞 20.3%
3位	原材料価格の上昇 10.0%	熟練技術者の確保難 12.5%	仕入単価の上昇 9.0%	新規参入業者の増加 9.5%

※DIとは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目についての増加（好転）企業割合から減少（悪化）企業割合を差し引いた値を示す。